【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】平成25年6月27日(2013.6.27)

【公表番号】特表2012-526628(P2012-526628A)
【公表日】平成24年11月1日(2012.11.1)
【年通号数】公開・登録公報2012-045
【出願番号】特願2012-510972(P2012-510972)
【国際特許分類】
Ａ６１Ｆ　2/08　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｆ　2/08

【手続補正書】
【提出日】平成25年5月9日(2013.5.9)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
少なくとも１つの鋲留めデバイスを使用して組織を修復するための医療装置において、
第１面（１１、２１１）及び第２面（１２、１２’、２１２）を有するグラフト部材（１０、１０’、２１０）と、
前記グラフト部材に結合されていて、前記グラフト部材を組織に固定する鋲留めデバイスの少なくとも一部分を包囲するように構成されている少なくとも１つの保護部材（１４ａ－１４ｄ、１０４、１１４ａ－１１４ｃ、１２４）と、を備えており、
前記保護部材は、内部空間（１７、２１８）を形成するエンクロージャ（１６、２１６）を有する少なくとも１つのポケットを備えており、前記鋲留めデバイスの少なくとも一部分が、前記エンクロージャにより形成される前記内部空間内に展開状態で配置され、
前記エンクロージャのリム（１５）は、前記内部空間の開口側を画定しており、前記開口側は前記グラフト部材の前記第１面に面している、医療装置。
【請求項２】
前記ポケットは、実質的に前記第１面と前記第２面の間の前記グラフト部材内に形成されている、請求項１に記載の医療装置。
【請求項３】
前記ポケットは、２つの側壁（２１５、２１６）と１つの端壁（２１７）を備えている、請求項２に記載の医療装置。
【請求項４】
前記少なくとも１つのポケットは、ドーム形状のエンクロージャを備えており、前記エンクロージャの前記リムが前記グラフト部材の前記第２面に結合されている、請求項１に記載の医療装置。
【請求項５】
複数のポケットが、前記グラフト部材の前記第２面に別々に結合されている、請求項１に記載の医療装置。
【請求項６】
前記複数のポケットは、前記グラフト材料の周囲に沿って離間して配置されている、請求項５に記載の医療装置。
【請求項７】

前記ポケットの前記内部空間の少なくとも一部分は、穿通できる物質（２１９）が充填されている、請求項１に記載の医療装置。

【請求項８】

前記鋲留めデバイス（２０ａ－２０ｄ）の少なくとも１つは、近位展開部材（３５－３７）と遠位展開部材（４５－４７）とを備えており、前記近位展開部材と前記遠位展開部材のそれぞれは、前記展開状態ではフック形状の形態を備え、前記近位展開部材又は前記遠位展開部材の少なくとも一方は、前記鋲留めデバイスが前記展開状態にあるときには、少なくとも部分的に、前記エンクロージャにより形成される前記内部空間内に配置されている、請求項１に記載の医療装置。

【請求項９】

前記少なくとも１つのポケットの前記内部空間は、前記鋲留めデバイスが前記展開状態にあるときには、少なくとも３０％の空き空間を有する体積を備えている、請求項１に記載の医療機器。

【請求項１０】

前記保護部材は、穿通できる材料で形成されている栓からなる、請求項１に記載の医療機器。

【請求項１１】

前記保護部材は、前記グラフト部材の前記第２面より遠位に配置されている少なくとも１つの障壁層を備えている、請求項１に記載の医療機器。